



# 千葉労働運動

国鉄千葉動力車労働組合

〒260-0017 千葉市中央区要町2番8号(DC会館)  
電話 { (鉄電) 千葉2935・2939番  
(公) 043(222)7207番  
FAX 043(224)7197番

2000.9.25 No.5199

## 1047名闘争勝利、「シニア協定」を許すな 検修・構内外注化阻止、組織強化拡大がちとれ

### 第29回定期大会へ結集を 10月1日10時からDC会館大会議室

十月一日午前十時からDC会館大会議室において、第二九回定期大会が開催されます。本定期大会は、結成二十周年を期した新たな闘いへむけて、代議員はもとより傍聴者の結集で討論を深め、闘う方針を確立し大成功をかちとろう。

#### 一〇四七名闘争勝利へ！

#### 国鉄闘争の再編・強化を

大会の課題の第一は、一〇四七名闘争の勝利に向けて闘う方針を鮮明にすることである。七月一日と八月二六日の国労臨大での「四党合意」にたいする闘いは、国労の闘う再生の展望を大きく切り開いた。「ラストチャンス論」にしがみつき闘争団切り捨てと国労解体の道を選択した国労中央にたいして、闘争団・家族と国鉄闘争支援の労働者の怒りが叩きつけられ、連日の本部追及の前に、一旦は「執行部退陣」を表明するところまで追い詰められた。こうした追及にたいして、国労中央は「全組合員による一票投票」強行することににより、「四党合意」と執行部の延命を策しています。われわれは、一〇四七名を支え、守りぬくとともに、国鉄闘争の再編・強化・発展をかちとっていかねばなりません。

#### 「シニア協定」を許すな

#### 検修・構内外注化阻止へ

大会の課題の第二は、「シニア協定」と検修・構内外注化の闘いに全力で立ち上がることである。九月一三日のJR東日本の検修・構内外注化、施設外注化の提案は、「シニア」の本質を余す事なくさし示している。JR発足以来検修職場は新たな要員補充を一切行なわなまま放置されてきた。そして十年以上が経過し、検修職の後継者が養成されないことで、職場の年令構成が極めて歪んだものとなり深刻な問題となってきた。こうした時に、六〇才以上の「雇用延長」問題を逆手に取った「シニア協定」は、六〇才での「選別・再雇用」という分割・民営化と同じ本質を持つ攻撃であるといえる。あわせて制度の「協定化」による組合差別の公然たる導入は、東労組を先兵とした組織破壊攻撃であるばかりでなく、外注化とセットとなることで、JRではたらく労働者全体にとっても雇用、労働条件、業務のすべてにわたって重大な影響をもたらすものになっている。決して「シニア」だけの問題ではないのだ。

#### JR結託体制をうち破り 組織強化・拡大がちとれ

しかもこうした「制度」を東労組は言うにことかいて「成果」といいたし、組織破壊の道具に用いている。断じて許してはならない。すでに動労千葉と三名の当該の組合員は労働省・労働大臣への申し立てを行ない、労働委員会闘争に立ち上がろうとしている。当該の三名に組合員

を全力で支え守りぬき、闘いの輪を大きく広げよう。八月二六日の総決起集会(DC会館で)を出発点に、大会での議論を深め全体の闘いとして確立しよう。

#### 労働運動の新たな潮流を リストラ反動攻撃と対決

大会の課題の第三は、JR結託体制打倒、組織拡大の闘いを本格的に開始することである。一〇四七名闘争の勝利と一体のものとして、JR本体での組織攻防戦に勝利することである。鴨川運輸区への海宝の転勤問題を見て解るように、東労組の組織体制は大きく揺らいでいる。結託体制によってかろうじて持ちこたえているにすぎない。すでに職場には革マルにたいする不満と怨嗟の音が充満している。結託体制の危機による合理化事業の丸呑みと労働強化にたいする怒りの声は沸騰寸前に達している。「シニア」とセットの全面的な外注化は、この怒りを極点まで高めるものになる。

最後に、国労臨大の闘いを見てもわかるように、労働組合、労働運動の高揚の兆しが確実に始まっている。あらゆる労働者あが反動とリストラの嵐のまえに、もはや黙っていられないと立ち上がるうとしていっている。問題はその結果軸にだれがなるのかというところだ。十一月五日には、日比谷野外音楽堂で、港合同、関代西生コン支部と動労千葉の三組合呼びかけの全国労働者総決起集会が開催される。闘う労働運動の新たな潮流の発展をかちとり、国家的大リストラ攻撃と対決する労働者の総決起をつくりだそう。

われわれは、運転保安闘争と外注化阻止の闘いを全力で闘うとともに、この一年間の闘いの重要な柱に結託体制打倒、組織拡大闘争をすえて、全組合員の総決起をかちとり勝利しよう。さらにこれから、完全民営化にむけたJR法改正問題が浮上してくる。貨物・三島などのありかたを含めJR体制の再編問題をみすえ、闘う体制を築きあげよう。

このように今定期大会は重要な課題が山積している。討論を深め団結をうち固めて、新たな闘いに討つてでる。そうした出発点として大会の成功を勝ち取るよう。

労働運動の新たな潮流をリストラ反動攻撃と対決